



サレジオ国際学園目黒星美小学校

SALESIAN INTERNATIONAL SCHOOL

学 校 案 内 2 0 2 6

い
つ
も
子
ど
も
と
共
に

サレジオ国際学園目黒星美小学校

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目17番6号 TEL:03-3711-7571(代) <https://www.meguroseibisho.ed.jp/>

電 車 (東急東横線)
「学芸大学駅」1.1km

バ ス (東急バス)
目黒駅前 — 大岡山小学校前
「サレジオ教会」下車・目の前

二子五川駅 — 目黒駅
徒歩営業所 — 目黒駅
等々力操車所 — 東京駅南口
「碑文谷五丁目交番」下車・徒歩5分

大森操車所 — 新代田駅前
「平町」下車・徒歩8分



公 式
ホームページは
こちら



Walk with ☺children

いつも子どもと共に

目黒星美小学校は、創立以来、ドン・ボスコの精神を受け継ぎ、
信頼関係の中で子ども達がより良く伸びていくことを願い、教育活動を行ってまいりました。

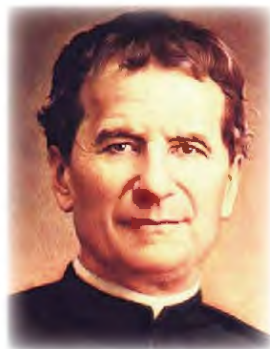
そしてこれからも、常に変化し続ける時代を生きる子ども達が、

思いやりを持って社会に貢献できる人材となれるよう、

教育活動に邁進していきます。



― 創立者 ―



聖ヨハネ・ボスコ 1815～1888
(通称ドン・ボスコ)

ドン・ボスコが生きた時代、イタリアでは統一運動や産業革命の波によって社会全体に大きな変革がもたらされ、若者達は教育どころか劣悪な環境の中で過酷な労働を強いられていました。ドン・ボスコは、この状況から若者を救い誠実な社会人へと教育し自立させるために、教育修道会である「サレジオ会」を創立しました。キリスト教の教えに基づいた「予防教育法」を実践し、同じ教育を女子にも行うようと教会やその他から要請され、「サレジアン・シスターズ」を創立しました。



聖マリア・マザレロ 1837～1881

マリア・マザレロは、信仰深い両親のもとで成長し、主に父親から神様のことを学びました。ドン・ボスコとの出会いを通して、その生き方や教育法に共感し、同志と共にドン・ボスコと同じ精神で女子教育を行うことを決意します。その後、ドン・ボスコは聖母マリアへの「感謝の生きた記念碑」として女子修道会創立を考えた際、このマリア・マザレロのグループを基礎として、「サレジアン・シスターズ」(Figlie di Maria Ausiliatrice) が誕生しました。

― 校長挨拶 ―

愛されて成長した子ども達は、
愛する人へと成長します！

創立者ヨハネ・ボスコは、1800年代、北イタリアで青少年のために尽くした教育者です。彼の教育理念の中心は「牧者の愛」であり、その実践はすべて、聖パウロのコリントの信徒への手紙(新約聖書)にあります。「愛は忍耐強い。愛は情け深い。…すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。」(1コリントの信徒への手紙13章)

本校は、カトリックミッションスクールです。日常生活の様々な場面で祈り、聖歌を歌い、自己を振り返る時があります。また、「いつも共にいる」教員との信頼関係が築かれ、友との友情を深められる家庭的な雰囲気・環境の中で、子ども達は6年間を過ごします。その時間は、人生のかけがいのない宝となります。子ども達が社会へととはばたく頃、世界は大きく変化し今以上の課題に直面することでしょう。しかし、変わらないのは、聖パウロの言う「愛」です。子ども達が、無償の愛で愛される体験をする中で「幸せ」を感じ、ひいては人を愛することのできる大人へと成長していけることを、心から願っています。

学校長 シスター小島理恵



【 校 訓 】

思いやりの心 愛徳
たゆまぬ努力 勤勉
清い心 清純

【 教育目標 】

品性を備えた誠実な明るい児童の育成

【 予防教育法 】

「愛するだけでは足りない。愛されていると感じられるように愛しなさい。」ドン・ボスコの教育法は、「理性・宗教・慈愛」を3本柱とした「予防教育法」として知られています。ドン・ボスコは子ども達と信頼関係を結び、見守られているという安心感の中で自らの足で善に向かえるよう導きました。その具体的な手段がアシステンツァ(共にいる教育)です。ドン・ボスコの教えは現在、130以上の国々に広がり、その意思を引き継いだ人たちは、学校・教会・社会福祉事業など社会生活の様々な場面で青少年や貧しい人々のために活動しています。

【 建学の精神 】

サレジアン国際学園目黒星美小学校は、キリスト教的な人間観・世界観により、創立者聖ヨハネ・ボスコと聖マリア・マザレロが実践した理性・宗教・慈愛に基づく「予防教育法による全人間教育」を行うために創立されたカトリック・ミッション・スクールです。

【 沿 革 】

1954年 星美学園(赤羽)第2小学校として開設
1955年 校舎落成(第1期工事終了)
1956年 学校法人目黒星美学園として独立
1998年 新校舎児童棟完成
2000年 校舎事務棟・体育館完成・校庭整地終了(第2、3期工事終了)新校舎落成
2006年 創立50周年記念
2010年 校庭 人工芝に替える
2016年 学校法人星美学園と合併
2023年 4月よりサレジアン国際学園目黒星美小学校に校名変更



【 併設校・姉妹校 】

併設校・姉妹校についてはこちら ▶



サレジオ国際学園目黒星美小学校の教育

【心の教育】

キリスト教の価値観に基づき他者を受け入れる心を育む。

自分だけではなく他者にとっても善いものを発信する態度を育む。

多文化に触れ、様々な環境の中で生活をする人々に心を寄せる。

国際的なマナーを身に付ける。

宗教の授業



1年生から6年生まで段階的に神様・自分・他者を見つめます。

合宿



2年生から6年生まで計7回の宿泊行事を行います。

ボランティア



他者のために自分達にできることを考え、活動に取り組みます。

宗教行事



神様の存在を感じ行事一つひとつの意味を考え、心の準備を大切にしています。

日々の関わり (アシステンツァ)



より善いことを伝えるために、教員はいつも子どもと共に過ごします。

インターナショナル ウィーク



イタリアやカンボジア等、諸外国について理解を深めます。

【言語教育】

日本で生活する者として、日本語を大切にする。

広い世界でのコミュニケーションを可能にするために、英語力の向上を目指す。

言語能力の基礎基本を確実に定着させる。

自分の考えを積極的に表現する。



朝学習

毎日10分間ずつ、漢字学習と英語学習を行います。



英語の授業

1年生から週2回以上、少人数クラスで行います。



国際交流プログラム

4年生以上の希望者を対象にオーストラリアにてホームステイプログラムを実施しています。



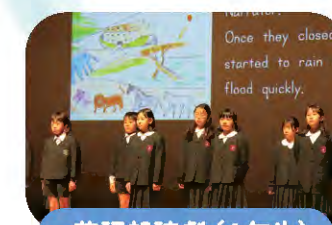
音読発表会(1年生)

1年間の音読の成果を発表します。保護者にも聞いてもらいます。



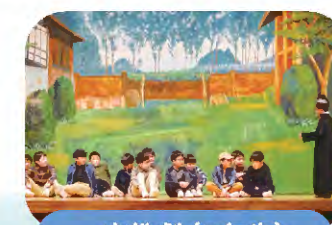
聖劇(3年生)

劇を通してクリスマスの本当の意味を伝えます。



英語朗読劇(4年生)

有名な聖書箇所を発音にも気をつけながら英語で朗読します。



宗教劇(5年生)

ドン・ボスコのお祝いの日に学年全体で宗教劇を演じます。



喜びのある学校

本校の喜びは、

「神と人に愛され 愛する喜び」「共に活動する喜び」「与える喜び」「学ぶ喜び」

の4つの喜びで表すことができます。

教師との関わり、友達との関わり、社会との

関わりが全て神様との繋がりの中で育まれることで、

品性を備えた誠実で明るい児童に

成長していくことを願っています。



低学年

「神と人に愛され 愛する喜び」を感じる ～ やさしさを育む2年間 ～

神様の愛に守られながら、先生に受け入れられる経験を通して、
人を受け入れていく素地が養われていきます。



1年・6年ペア

入学式の日、1年生は6年生に迎え入れられ学校生活がスタートします。ペアの6年生との繋がりは1年間続きます。一緒に遊んだり、手紙のやり取りをしたり、時には一緒にご飯を食べたりしながら、他者から受け入れられる喜びを感じていきます。6年生にとっても年少者を慈しむ思いやりを育む機会となっています。



校内見学

1年生は2年生に連れられて、学校の施設について紹介してもらいます。まだ見たことのない施設を上手に紹介してくれる2年生の姿から、こんな2年生になりたいと憧れを感じます。また、2年生は初めての先輩を体感する機会でもあります。



学年集会

こいのぼり集会、七夕集会、節分集会など、年中行事について学習した後はみんなで集まって学習の振り返りをしたり、楽しいゲームをしたりします。他者と楽しい時間を共有することの喜びを感じるだけでなく、集会を成立させるために司会進行や人前で発表する方法も学んでいきます。



校内郵便局

2年生は郵便局や手紙の仕組みを知ることで、気持ちを伝え合う良さについて学びます。学習したことを全校に発信する意味も込めて校内郵便局を開局し、他学年が心を伝え合うお手伝いをしながら、社会性も学んでいきます。

「共に活動する喜び」を感じる ～協調性と主体性を育む2年間～

集団の中の一員として共に活動する喜びを味わい、
自分の役割を探していきます。



菅平高原学校／志賀高原学校

神様がお創りになった自然の中で、友達と協力しながら、自分のより善い成長を目指して生活します。3年生は宿泊施設のプールでの水泳学習や音楽堂での合唱、4年生は志賀高原の雄大な自然の中でトレッキングを行い、お互いの良さに目を向け、他者との関わり方を体験の中から学びます。



聖劇

宗教の学習を通して、イエス様は神様からのプレゼントであることを学び、3年生がクリスマスの本当の意味を伝えるために聖劇を行い、全ての人の救い主であるイエス様の御生誕をお祝いします。初めて学校全体を動かす行事の中心となり、学年全体の中で一人一人が役割を担い、自分の力を精一杯発揮します。



カトリック音楽会

4年生は2月に学校代表としてカトリック音楽会に出演します。自分達の練習の成果を発揮するだけではなく、他校の演奏を聴いたり共に同じ聖歌を歌ったりすることで、カトリック校の絆を深めます。



クラブ活動

4年生からクラブ活動が開始します。自分の選んだクラブで異学年と交流し、好きなことに打ち込みながら主体性や協調性を伸ばします。運動系のクラブの中には他校との交流試合を定期的に行うものもあります。(p.12参照)

「与える喜び」を感じる ～個性を育む2年間～

自分の個性を理解し、自分にできることを考え、
グローバルな視野で 他者に貢献する心が育まれていきます。



男女別学クラス

5年生からは男女別学、1学年4クラス編成になります。男女の発達の違いを考慮しながら、それぞれに適したアシステンツァがおこなわれます。クラス外での行事や委員会活動等は男女協力し、高学年として学校を支えていく存在へと成長していきます。



委員会活動

本校では5、6年生が8つの委員会に分かれ、それぞれの立場からより良い学校作りを目指して活動します。授業時間だけではなく責任感を持って朝や休み時間も活動する高学年の姿は、低学年から頼もしい存在として受け入れられています。(p.12参照)



宗教劇

5年生はドン・ボスコのお祝いの日に、学年全体で宗教劇を演じます。子ども達の熱い演技は見る者に感動を与えるだけではなく、内面的になりがちな年齢期の児童にとって、有効な表現活動の場となっています。



尾瀬高原学校／サマースクール(男子)／ 森の学校(女子)／美ら島学校／スキースクール

高学年は各年2回の合宿があります。5年生は尾瀬高原学校では片品村の地域産業や生活について学び、夏休みに男女別プログラムで合宿を行っています。6年生は戦地となった沖縄県で平和な未来に向かって自分にできることを考え、スキースクールでは技術を習得すると共により良い自分を目指して挑戦する姿勢を養います。



ボランティア活動

1年生から6年生まで、毎月の献金やクリスマス助け合い運動など様々なボランティア活動を実施しています。特に6年生はボランティアの意義や意図を学習し、社会の中で困っている人の立場を理解しながら必要に応じたボランティアを訴えかける立場となり活動します。

「学ぶ喜び」を感じる ～誠実さと根気強さを育む6年間～

本校では主体的に学習課題を追究する姿を大切に、共に学び合う子の育成を目指しています。学び合いの形態を工夫し、各教科や学年で授業研究を進めています。



宗教
イエス・キリストの教えを通して、神が私たちを愛してくださっていることを学びます。それにより、他者への思いやり、優しさ、赦しの心が育まれ、自分の力を他者のために提供できる心を養います。



国語
文章を読み合う中で出された課題に対して、一人ひとりが意見を持ち、聞き合い話し合う授業を心がけています。国語の授業で培った言葉の力や表現力は、他教科にも生かされます。また、毎日の朝読書、図書の授業など、児童期の読書体験を大切にしています。



生活
授業を通して、より良い生活を自ら考え、実践していくことを学んでいきます。自分や周りの人の良さに気づき、感謝の心を持ち、意欲的に生活しようとする姿勢を養います。



社会
社会的現象が自分達の生活にどのように関わっているかを実感できるような授業を展開していきます。様々な立場に立って多角的に考える力や、社会の変化に主体的に対応できる行動力を養います。



算数
算数の問題を通して、自分の考えを伝える力、進んで活用する姿勢、そして、友達と考えを理解し合える思いやりの心が育ってほしいと考えています。考えを聞き合うことで学びを深め、筋道立てて考える力を養います。



図工
表現や鑑賞の活動を通して、自ら創り出す喜びを味わい、友達と互いの良さを見つけ合い高め合います。また、試行錯誤することから、創造力を培い感性を磨きます。生活を美しく豊かにする造形や美術の働きなどへの理解を深めます。



理科
自ら自然にはたらきかけ、「なぜ」と疑問を持つことを大切にしています。そこから自然科学の基礎的なことを体系的に学び、好奇心・探求心を身につけ、「学んだ事を活かす力」を養います。



英語
1年生から週2回、クラスを半分にした少人数制で行い、日本人教員とネイティブ教員が交互に担当します。英語での聞く・話す・読む・書くの活動を積み重ねながら、実際の場面で使う力を養います。毎期10分間の英語学習時間では、英語の基礎をしっかりと築きます。



家庭
日常生活に必要な衣食住についての基本的な知識や技能を学びながら家庭生活への関心を高めていきたいと考えています。また学んだことを活用し身近な生活をより良くしようとする態度を養います。



音楽
祈りの心で聖歌を歌い、音楽作りや演奏する体験を友達と共に行います。進んで音楽活動に関わることで、表現力や感性、コミュニケーション力を高めていく授業を通して、生涯にわたり音楽に親しむ心が育まれることを願っています。



体育
基礎体力の習得をはかり、多くの成功体験を積み重ねることにより、できた喜びを味わえます。お互いに認め合い協力する心を養い、子ども達が心身ともに健やかに成長できるよう、授業を計画しています。

総合的な学習時間

合宿(フィールドワーク)
本校では合宿を総合的な学習の時間と位置付けています。
マナー教室
日本マナー・プロトコール協会認定講師を迎えて、マナー教室を行っています。学年に応じたマナーを学び、誰からも愛される子どもを目指します。
情報
iPadを一つの学習ツールとして様々な場面で使いこなせるようにすること、また、パソコンの基本ソフト「Word」「Excel」「PowerPoint」の使い方を学び、自分の将来へと繋げていくことを意識させながら授業を行っています。

授業時数 ※専科制をとり、より専門的な指導を行います。(宗教・英語・理科・音楽・図画工作・体育)

曜日別授業時間数					
	月	火	水	木	金
1年	5	5	5	6	5
2年	6	5	6	6	5
3年	6	6	6	6	5
4年	6	6	6	6	6
5年	6	6	6	6	6
6年	6	6	6	6	6

※その他、朝読書や朝学習の時間があります。
※行事により土曜日に登校する場合があります。
※1年生は9月より木曜日は6時間授業になります。

教科別授業時間数(目安)											
	国	社	算	理	生	音	図	家	体	英	宗
1年	8	—	4	—	3	2	2	—	3	3	2
2年	9	—	5	—	3	2	2	—	3	3	2
3年	8	2	5	3	—	2	2	—	3	3	2
4年	7	3	6	3	—	2	2	—	3	3	2
5年	6	3	6	3	—	2	2	1	3	3	2
6年	6	3	6	3	—	2	2	1	3	3	2

※国語と英語には朝学習等モジュール学習の時間が含まれます。

クラブ・委員会

クラブ	委員会
サッカー	科学
バレーボール	美術
バスケットボール	鉄道
卓球	将棋
チアリーディング	演劇
少林寺拳法	百人一首
縄跳び	料理
ドッジボール	
日本文化	

※令和6年度実施クラブ

課外活動 (4年生以上の自主的な活動)

- P.A.M.(Piccoli Apostoli di Maria)
聖母マリアの小さな使徒会(1980年発足)
校内の宗教行事への協力や老人ホーム訪問のほか、みんなの幸せを願って自主的に活動しています。
- 聖歌隊(1980年発足)
宗教行事・学校行事のほかサレジオ教会や私立学校の音楽祭などで、心を込めて歌声をお届けしています。
- ジュニアオーケストラクラブ(1970年発足)
入学式や卒業式などの学校行事や私立小学校の音楽祭などで演奏しています。

1年生の1日のスケジュール

【生活時程】

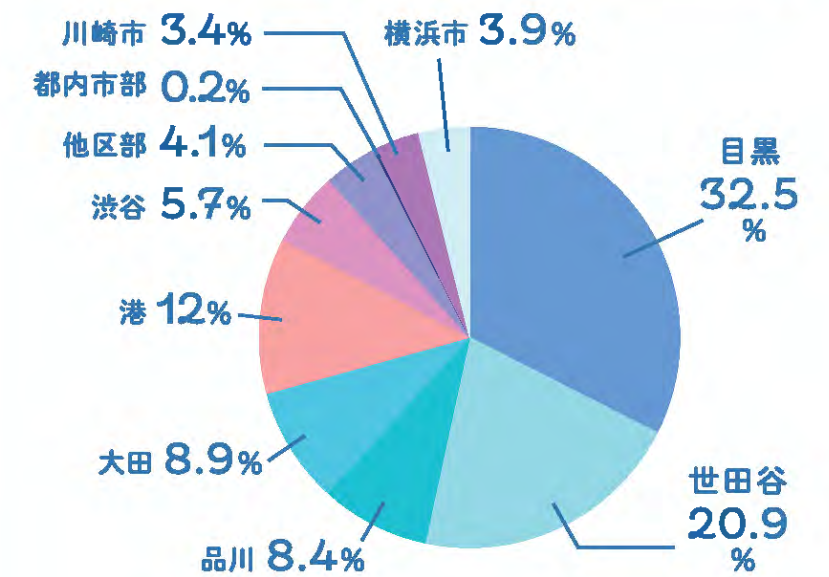


詳しい生活時程は
こちらです。

児童数と教員数（令和6年度）

児童数		教員数	
618	名	42	名
男子	288名	男性	14名
女子	330名	女性	28名
		(+非常勤4名)	

通学区域（令和6年度）



ドーボ・スコラ（学童保育）

ドーボ・スコラは、ご両親の就業により、放課後、家庭において一人で過ごさざるを得ない1～2年生の児童を校内でお預かりする、放課後サポートクラブです。



活動の流れ

帰りの会終了後に活動場所へ移動し、宿題を終わらせ、おやつを取ります。お迎えの時間まで、読書やゲーム、パズル等をして楽しく過ごします。

児童の引き取り

保護者には18時までの迎えをお願いしています。高学年の下校時間帯に合わせて、一人で帰ることもできます。保護者から学校へご連絡いただいた方の引き取りも可能です。また、兄弟が上級生に在学の場合、その下校時刻と一緒に帰宅することもできます。

安全管理体制

本校の安全指針に準じてアシステンツァに努めています。

喜びにあふれた一年

入学式、運動会、宗教行事やクリスマス会、卒業式など一年を通して

子ども達は多くの行事に参加します。それらの行事は、たくさんの学びはもちろん、多くの喜びにもあふれています。

児童

・遠足
・方面別指導
・2年生による学校案内
・交通安全教室
・親子マナー教室
・対面式
・入学式

・グループ下校開始
・こどもの日の集い
・聖母祭

・運動会

・夏の集い
・七夕集会
・図書貸し出し開始

・夏休み

・音楽会
・感謝の日
・秋の遠足

4

5

6

7

8

9

前期

保護者

・保護者面談
・全校保護者会
・学級保護者会

・授業参観

・保護者面談
・学級保護者会

・引き渡し訓練

・前期終業式
・芸術鑑賞会
・ロザリオの集い

・慰霊の日の集い
・後期始業式

・クリスマスの集い
・無原罪の聖母の祝日

・ドン・ボスコのお祝い

・節分集会

・仲良し会
・卒業ミサ

10

11

12

1

2

3

後期

・全校保護者会
・授業参観

・保護者面談
・学級保護者会

・授業参観

・学級保護者会

※チャイルドスタディ(年6回/希望者対象子育て講話)や父親講話(年5回/希望者対象カトリック講話)があります。



全年年の
年間行事は「さくら」

制服

冬服



登下校時の服装



校内での服装

夏服



登下校時の服装



校内での服装

※ランドセルは3年生から利用します。1,2年生はショルダーバッグをリュック型にして利用します。

卒業に向けて

【 目指す子ども像 】



自分の命を開花させる
(自己との対話)

- 自分自身を知り大切にします。
- 善に向かう心が育っています。
- 様々な出来事に対応しようとする力が身についています。
- 知識・教養を身につけます。
- 自分にできることを考え行動します。



キリスト教的な価値観を身につける
(神との対話)

- いつも共にいてくださる神を知り 祈る心をもっています。
- 素直な心で 喜んで生きています。
- キリストのメッセージを理解しています。



社会の中で、愛に根差した貢献をする
(社会との対話)

- 責任感をもって生活しています。
- 人々と連携して生きようとする心が育っています。
- 国際的な感性をもっています。
- すべてのいのちを大切にします。
- 社会に貢献できる人になれるよう努力しています。

【 卒業関連行事 】



練成会

6年間の生活を振り返り、神様と自分との関わりを見つめ直し、卒業後も大切にしていきたい生き方について考えます。



お茶会

茶道の先生から礼儀作法を学び、本物に触れる機会としています。自らお茶を点て、日々穏やかな心で過ごせることを願いながらお茶をいただきます。



卒業ミサ

全校でミサに与り、6年生のこれまで成長と卒業後の前途を祝して、神様に感謝の祈りを捧げます。



送別会／
6年生を送る会

在校生が6年生に対して感謝の気持ちを表し、6年生もその気持ちに応えて在校生にメッセージを送ります。

【 合格校一覧 】

2023年度卒業生(五十音順)

【 内部進学 】 サレジオ国際学園世田谷中学高等学校

【 男子校 】

麻布／浅野／栄光／海城／暁星／慶應義塾普通部／攻玉社／国学院大学久我山(男子部)／駒場東邦／サレジオ学院／芝／城北埼玉／巣鴨／聖学院／聖光学院／世田谷学園／高輪／筑波大学付属駒場／東京都市大学付属／本郷／立教新座／早稲田／国館ラサール など

【 女子校 】

跡見学園／浦和明の星女子／大妻／学習院女子／カリタス女子／吉祥女子／共立女子／晃華学園／麹町学園女子／国学院大学久我山(女子部)／百合学園／清泉女学院／東京女学院／東洋英和女学院／日本女子大学付属／フェリス学院／不二聖心女子学院／普連土学園／三輪田学園／和洋九段女子 など

【 共学校 】

神奈川学園／渋谷教育学園渋谷／渋谷教育学園幕張／淑徳巣鴨／順天／成蹊／成城学園／玉川学園／東京学芸大学付属小金井／東海大学付属高輪台高等学校／東京農業大学第一／東京都市大学等々力／東邦大学付属東邦／田園調布学園／日本大学／三田国際学園／八雲学園 など

学校施設紹介

より良い学びには、より良い学習環境も大切です。本校の校舎は、

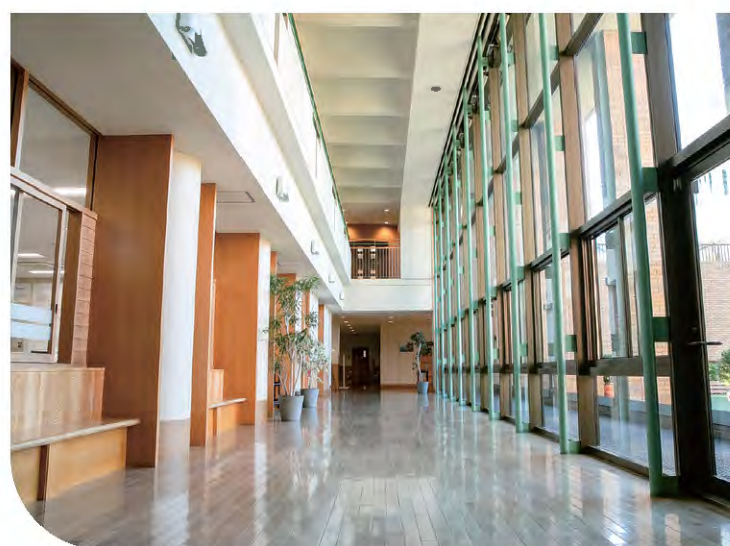
「光・風・緑」をコンセプトにしています。



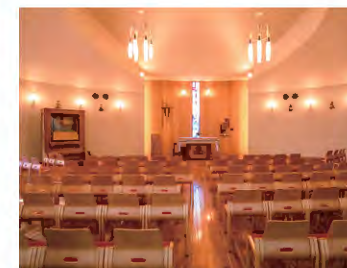
校庭



正門玄関(昇降口)



1階職員室前



聖堂



図書館



イングリッシュルーム



和室



ミレニウムホール



理科室



クオーレ



高学年用昇降口



低学年用昇降口



低学年図書コーナー



図工室



第1音楽室



第2音楽室



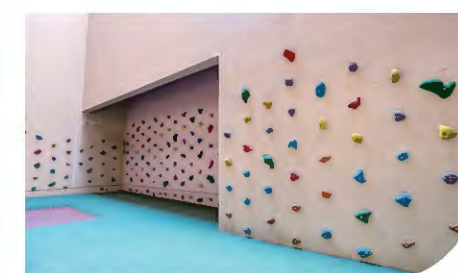
実習室



体育館



ドライエリア



クライミングウォール

子ども達に安全と安心を

1 児童の通学時の安全確保について

1 方面別安全指導

児童の通学範囲は広範囲にわたるため、それぞれの方面ごとにグループ分けを行い、「危険な場所の特定」や「子ども110番の家の把握」等に努めます。

2 災害対策として「ピンチクリアーキット」の配布

登下校時の災害時、万が一の自力解決が必要な時のために、「ピンチクリアーキット(携帯型災害対応備品)」を児童に配布しています。キットには、小型懐中電灯、体温維持シート、救助用ホイッスル、金属光ライトが入っています。

3 教員による見回り指導

学校周辺の主要な駅やバス停周辺にて、教員の巡回や指導を定期的に行っています。見回りをしながら、社会マナーや交通ルールを守ること、危険の見つけ方や危険の回避法も指導します。また、保護者も主体的に見守り活動に参加しています。



2 児童の在校時の災害対策

1 校舎の耐震性

本校の校舎は、新しい建築基準法に基づき、地震に耐えうる設計となっています。その高い耐震性により、地震発生時には校舎の外へ避難せず、教室を安全な避難場所として利用します。

2 備蓄

本校では、ガス、電気、水道、通信などのライフラインがすべて停止した場合でも、最大720名の児童を3日間学校内で保護できるよう、食料、毛布、簡易トイレ、発電機を備えています。

3 避難訓練

学期ごとに1回、「地震」「火災」「地震後の火災」を想定して避難訓練を実施しています。有事の際に冷静に対応できるよう準備しています。

4 防災頭巾の整備

教室では、防災頭巾を各自の席に準備しています。また、移動教室時にも携行し、どんな状況でも備えを怠りません。



3 救急処置について

1 AED導入

本校には、1階に2台、体育館に1台のAEDが設置されています。

2 教職員の救急処置訓練

学内外で起こる様々な場面を想定し、教職員においてはCPR(心肺蘇生法)や救急処置の訓練を目黒消防署や地元消防団の協力の下、定期的に行っています。



4 校外活動について

1 事前の下見(点検)の徹底

校外活動では、危険回避や緊急時対応のため、宿泊施設や活動場所の細部まで毎年点検を実施しています。学習先の管理者にも防災対策の徹底を依頼しています。

2 活動中の安全管理

天候や環境に応じて柔軟に対応し、安全性を確保する判断や配慮を徹底しています。

5 携帯電話の利用について

1 子どもの携帯電話についての考え方

本校では、携帯電話を「緊急時の児童と保護者の連絡手段」として位置づけています。登下校中に適切な判断が難しい場面では、速やかな連絡が危険回避や被害最小化に役立つと考え、持ち込みを認めています。ただし、メールや通話、インターネット利用が目的の場合は、小学生には不適切となるため、保護者にも徹底した管理を求めています。

2 携帯電話持ち込みのルール

本校では、以下の条件を満たす場合に限り、携帯電話の持ち込みを許可しています。

- 「緊急時の連絡手段」に限定(メール、ゲーム、インターネット利用は不可)。
- 子ども向けに開発された学校指定の機種であること。
- 多機能端末は、保護者が目的や学齢に応じた制限を設定すること。
- 保護者と児童が利用ルールを作り、定期的に見直されているか確認すること。



さらに詳しい
情報はこちら

令和8年度就学児募集要項

※詳細は願書に同封されている募集要項をご確認ください。

募集人員／男女 A日程・B日程 計102名(定員120名)

応募資格／平成31年(2019年)4月2日から令和2年(2020年)4月1日までに生まれた者

	A 日程	B 日程
願書頒布開始	5月9日(金)第1回学校説明会会場	
校内広報行事	(5月9日・20日／6月4日・17日／7月19日／9月4日)	
願書頒布日程	9月4日(木)～9月30日(火) 平日9時～12時	9月4日(木)～9月30日(火) 11月4日(火)～11月7日(金) 平日9時～12時
願書受付※	インターネット 9月21日(日)～10月5日(日)	インターネット 11月3日(月)～11月9日(日)
	郵送 10月1日(水)～10月6日(月)消印有効	郵送 11月4日(火)～11月10日(月)消印有効
※インターネット出願後に郵送出願を行うことで正式な出願となります。		
受験料	25,000円	
面接	保護者、志願者の面接(面接時間は15分間)	
	10月18日(土)、25日(土)いずれか	11月15日(土)
試験	11月1日(土) 受付時間 8:00～8:30 試験終了 12:15	11月21日(金) 受付時間 8:00～8:30 試験終了 12:15
	11月2日(日) WEB上……………10:00～13:00 書類受け取り……………12:00～14:00	11月22日(土) WEB上……………10:00～13:00 書類受け取り……………12:00～14:00
合格発表		

学費に関わること

○入学金	¥250,000
○施設設備費	¥150,000
○預り金(年額)	¥35,000
○授業料(月額)	¥42,000
○教育充実費(月額)	¥7,000
○後援会費(月額)	¥3,500
○合宿積立金(月額)	¥5,500
○ICT関連費(月額)	¥2,500
合計	¥1,161,000
入学金を除く初年度合計	¥911,000
(令和7年度)	

イベント

HPから予約が必要です。

日程	場所	内容
2月25日(火)	校内	学校説明会①
5月 9日(金)	校内	学校説明会②
5月20日(火)	校内	学校説明会③
6月 4日(水)	校内	学校説明会④
6月17日(火)	校内	学校説明会⑤
7月 4日(金)	とどろきアリーナ	運動会
7月19日(土)	校内	入試体験会
9月 4日(木)	校内	入学試験説明会